

＜ 審査意見 ＞

令和6年度の予算は、「寒川町総合計画2040」^{にせんよんじゅう}に掲げられる、まちの将来像「つながる力で 新化するまち」の実現を目指し、事業の「選択と集中」により検討・編成された予算でありました。

そのような中、下水道事業特別会計を除く寒川町一般会計及び、3特別会計の決算総額は、歳入で320億2,785万4,214円、歳出では301億5,252万7,688円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、17億8,345万4,383円の黒字決算となりました。

そのような状況の中、一般会計の決算額は、歳入で219億5,526万1,041円、歳出で204億1,763万6,976円となり、前年度に比べ歳入では7億490万3,375円、3.1%の減、歳出は2億8,266万2,826円、1.4%の減となっています。

令和6年度の歳入において、主たる自主財源となる町税は、総額の43.0%を占めましたが、定額減税の実施などにより個人町民税が減。法人町民税でも、町内の一部企業が減収になるなど、全体では9,989万9,913円、1.0%の減となりました。また、繰入金についても2億9,449万1,436円、17.0%の減となり、これらの結果、自主財源全体でも3億9,302万2,659円、2.7%減となっています。

依存財源においては、国庫支出金で、就学前教育・保育施設整備交付金が増となったものの、学校給食センター建設に伴う学校施設環境改善交付金の皆減などにより、全体では1億3,169万7,955円、3.8%の減。県支出金でも、衆議院議員選挙に伴う衆議院議員総選挙執行経費委託金の皆増があったものの、障害者自立支援給付費等県費負担金の減、国の低所得世帯等への経済対策に伴う低所得の子

育て世帯特別給付事業費補助金の皆減などにより、全体では2,943万2,196円、2.2%の減。それ以外にも、寒川総合体育館武道場及びサブアリーナ空調機新設工事の完了や田端西地区まちづくり事業の縮小などにより町債も減額となり、結果、自主財源と依存財源の構成比割合は65.5対34.5で、前年度と比較すると自主財源が0.3ポイントの増、依存財源が0.3ポイントの減となりました。

令和6年度においては、自主財源比率が微増となりましたが、各種財政指標の動向等を注視しつつ、中長期的な視野に立った健全な財政運営に努めることを望みます。

一方、歳出の内訳として、昨年度取り組まれた主な事業は、総務費では、町健康管理センター代替施設建設に伴う、公共施設集積エリアへのアプローチ導線確保のための土地購入費の増。民生費では、国の定額減税による定額減税補足給付金給付事業費の増や、倉見幼稚園の認定こども園化に伴う改修工事等に対する就学前教育・保育施設整備事業補助金の増。衛生費では、健康管理センター代替施設建設工事や粗大ごみ処理施設の整備に伴う広域粗大ごみ処理施設建設負担金の増。農林水産業費では、農業用排水路等維持補修工事の増。商工費では、デジタル地域通貨さむかわ Pay の開発等に伴う商工会補助金の増や、中小企業事業資金融資を利用しやすくするための限度額増額に伴う中小企業融資貸付金預託金の増。土木費では、宮山 38 号線舗装改良工事の増。消防費では、消防広域化に係る緊急通信指令システム整備などのための消防業務委託料の増や、消防署宮山出張所の建設工事の増。教育費では、教師用指導書及び教科書の購入などによる消耗品費や、中学校給食を通年としたことによる食糧費の増など、町民や町内事業者の要望に応えるべく緊急性・必要性の高い事業を選択し取り組んだ姿勢は評価できるものです。

特別会計については、少子高齢化や団塊の世代の移行が進み、後期高齢者医療事業や介護保険事業で被保険者や医療費の増加が今後も見込まれます。このため、制度の安定的な運営を図る観点から、負担の公平性を確保するよう、引き続き要望します。また、下水道事業特別会計については、収益見込みを考慮しながら、計画的・効率的・合理的な経営に取り組むよう一層の努力を期待します。

令和6年度は、前年から続く景気の緩やかな回復基調から、高い水準の賃上げや国の経済対策により個人消費の押上が期待されたところでありましたが、賃上げが物価高騰に追いつかず、町民の暮らしにも影響がありました。そのような状況の中で執行された本決算は、総体的に見て適正なものと判断します。

町では今後も、義務的経費の増加や公共施設の再編、東海道新幹線新駅の誘致といった大規模事業を控えていますが、既存事業の徹底した見直しによる歳出の一層の適正化に取り組むなど、町民の皆様からの負託に応えるべく、持続可能な魅力あるまちづくりを進めることで「住んでいてよかった」と言われるよう、効率的かつ効果的な行財政運営が進められることを期待します。

なお、審査の過程において、各委員からの指摘や意見等については十分勘案し、今後の予算編成、執行にあたられるよう要望し、審査意見とします。